



2012-13

週報



パワー浜松ロータリークラブ事務局
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2
オークラクトシティホテル浜松4307号室
Tel/Fax 053-452-0800
Email info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp
創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日
認証伝達式/2003年4月29日
スポンサークラブ/浜松中RC



RIテーマ「奉仕を通じて平和を」会長/田中作次(八潮RC)
2620地区のテーマ「クラブは自ら活性し、お互いのつながりを実感しながらロータリーを伸展させよう」
ガバナー/高野孫左エ門(甲府RC)
パワー浜松RCのテーマ「固く結ぼう心の絆、分かち合おう総ての仲間と」会長/小澤邦比呂

第448 回例会 7月24日(火)AM7:30~8:30
オークラクトシティホテル浜松4F平安の間
■司会:堀内善弘 川口学 ■点鐘:小澤邦比呂
■ロータリーソング:それこそロータリー

出席

90名中61名67.8%
前々回修正出席率80.0%

会長挨拶

ロータリアンの皆様、おはようございます。

本日は皆さんのお手元にあるクラブ事業計画書の表紙の説明をさせていただきます。表紙には一羽のハチドリが燃え盛る森林をなんとかしようとして立ち向かっている姿を描いています。私の好きな短い物語です。

～ハチドリのひとしずく～

『森が燃えていました 森の生きものたちはわれ先にと逃げていきました でもクリキンディという名のハチドリだけは いったりきたり くちばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは火の上に落としていきます 動物たちがそれを見て「そんなことをしていったい何になるんだ」といって笑います クリキンディはこう答えました「私は、私にできることをしているだけ」』

これは南米アンデス地方の先住民族に伝わる民話で、燃えさかる森にハチドリが一滴ずつ水を落としていくという短い、そして気の遠くなるようなお話。古代マヤ・アステカそしてインカ文明には謎が多く残っています。ナスカの地上絵にはハチドリやコンドルが多く描かれています。降雨量の少ない荒涼とした砂漠の多いこの地方は、その昔から気候条件に適したジャガイモを中心にした作物を栽培してきました。地上絵は先住民族がコツコツ・コツコツと大地を掘り続け、石を積み上げたりして出来たそうです。おそらく、大地に恵みをもたらす雨乞いや感謝の思いだったのではないのでしょうか。そして、その代表として鳥の中で世界一体の小さいハチドリが勤勉と努力の象徴として多く描かれ、また同時にこの民話が出来たと想像します。「ハチドリのひとしずく」この大宇宙から見れば、小さく無力のように思える小さな小さな生き物。でも、そんな自分でもコツコツと出来ることもあるかも知れません。全ての環境を破壊することは一瞬で簡単なことであります。現代の営利を目的とした物質至上主義では一足飛びのシステムはあるかも知れませんが、この宇宙の魂においては一切、一足飛びのシステムはありえないということを古代の人々、そしてハチドリは現代にそっと教え伝えているのかも知れません。そのひとしずくを落とし続けること平和(幸福)をもたらすことを信じて・・・

世の中見て見ぬふりをする状況が多くみられます。

また事業活動においても同様で、「すぐに結果が出るものだけ」が注目され、「時間がかかるもの」や「すぐに成果としてあらわれないもの」は避けてられてしまう状況です。

しかし我々にとって一番大切なものがそこにあるのではないのでしょうか。

たとえ時間がかかっても、見返りをもとめるのではなく、本当の意味で大切なことを今一度考えてみる必要があります。

私たちは一人ではなかなか思うようなことができません。しかし皆が集まっているこのクラブでは一人一人が(ハチドリのように)一滴ずつ落とすことで素晴らしい成果があげられるのではないのでしょうか。

本年度の事業計画書の表紙にはそんな意味合いを込めさせていただきました。



幹事報告

- 7月31日第449回例会終了後、本年度第1回理事会を開催します。尚、毎回上限5人にて『理事会見学』を開催します。希望者は幹事または事務局まで一報ください。
- AKR95ミーティングのインタビュー表未提出者は速やかに提出願います。

スマイル報告

- 坂井光蔵: 第2760地区の増強セミナーにて会員増強をテーマに講師をしてきました。
- 富田清志: ビジネスマッチングフェアにてLED製品を展示しております。
- 加藤ひとみ: 第1回課外活動、花火クルージングにご参加ありがとうございました。



2012-13

第448回例会
7月24日
(火)



パワー浜松ロータリークラブ事務局
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2
オークラアクティホテル浜松4307号室
Tel/Fax 053-452-0800
Email info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp
創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日
認証伝達式/2003年4月29日
スポンサークラブ/浜松中RC



議事卓話

米山記念奨学会について 担当: 米山記念部会

卓話者: 鈴木和行さん、田淵邦彦さん

米山記念部会 副部会長の鈴木和行さん及び、田淵邦彦さんより米山記念奨学会について以下の説明がありました。

■米山奨学会は日本にしかない制度

戦中の日本のRCはRIから離脱しており、戦後のRI復帰に際して日本独自の取り組みをしようとの掛け声のもと、東京RCにて設立が提起されました。

■PRCでは年間一人当たり約16,000円、合算で約160万円が米山記念奨学金への寄付に

パワー浜松ロータリークラブの一人一人による篤志寄付が米山記念奨学会と、そこに集う奨学生、そこから巣立っていった学友の活動を支えています。

■年間の奨学生の数は約800人

米山記念奨学会では年間約800人(2012年6月現在では852人)の奨学生に奨学金を届けています。

学友の活躍紹介ビデオ「心つないで、世界へ」上映

日本各地のRCにおいて米山記念奨学生として日本で勉学に励み、各地のロータリアンと物心双方の交流を持った奨学生達がそれぞれの立場において日本と各国との懸け橋になるべく様々な取組を行っている姿が紹介されました。



坂井前会長報告



昨年のPRCで20名の会員増強を果たした実績を買われ、愛知県RCにて会員の維持、増強をテーマとしたセミナー講師に呼ばれてきました。

愛知ではRCのメンバーが5000人を切り、4800人台に突入したそうです。そのような状況でもクラブによっては女性会員に門戸を閉ざしたままであったり、既存会員のみでの閉鎖的な組織のままであったり、親睦のみを目的としたような会があったりと足並みは揃っていません。

他方盛和会や倫理法人会などは経営者としての勉強会を旨として伸長しているそうです。

少なくともPRCとしては、自分たちの視点をどこに置くかによってクラブのありようは変わる事を厳に自覚し、会員増強に関して戦略的な見地から考え直さねばならないと思います。

ハッピーバースデー

奥山恵理子さん (7月22日)

近況:「意欲と自立、交流」が予防の要と仮定し認知症の研究に没頭しています。



鷲津有一さん (7月28日)

近況: 次の1年間もオトナなお酒の楽しみ方ができるようになりたいと思います。